

# Pass me!

県民とつくる  
鳥取県立美術館ができるまでを伝える現状報告マガジン

# 04



オンラインも駆使して、  
さまざまな  
取り組みが  
行われています!

建設の着工に向けて、実施設計を進めています!

## 県博 NEWS & TOPICS

### 01 近現代版画の魅力 —ルオー、クラウヴェ、菅井汲、深澤幸雄、李禹煥らを中心に—

倉吉市在住の垣田堅二郎氏より、近現代版画を中心に167点の美術作品の寄贈を受けました。これらの中から作品をすべて公開し、近代から現代にいたる版画表現の多様性と可能性を紹介します。

会期 2021年4月10日(土)~5月9日(日)  
会場 鳥取県立博物館 第1,2特別展示室  
時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)  
料金 一般600円(団体・前売は400円)  
◀ 李禹煥《線より4》1997年/リトグラフ・紙

### 02 美術コレクション展示

テーマを設けて、当館の所蔵作品をご紹介します。2021年の春は、近世絵画・近代日本画の優品を展示する予定です(展覧会名・内容などの詳細は、ホームページにてご確認ください)。

会期 2021年4月17日(土)~5月12日(水)  
会場 鳥取県立博物館 第3特別展示室  
時間 9:00-17:00 (入館は16:30まで)  
料金 一般180円(企画展をご覧の方は無料)  
◀ 中島菜刀《麒麟獅子(右隻)》1938年/紙本着色/当館蔵

この春、鳥取県立美術館の  
プレサイトがオープンします!  
鳥取県立美術館パートナーズ(広報:丹青社)が、鳥取出身クリエイターをパートナーに迎え制作中。美術館概要のほか、開館準備を県民みんなで楽しむイベントや募集情報などを発信します!



プレサイト制作: Qetic株式会社

## 今号の運び手 passer

舞台は 浦富海水浴場 〒681-0003 鳥取県岩美郡岩美町浦富



開館に向けて  
鳥取各地を  
白い箱が旅します

岩美町にある造形教室  
「アートスタジオなたね」

代表  
藤田妙子さん

武蔵野美術大学大学院を卒業後、ロンドンでの生活を経て2016年に岩美町に移住。2019年に「アートスタジオなたね」を立ち上げた。つくる楽しさ・見る楽しさを大切に指導している。

https://www.artstudio.natane.com/

Q どんな活動をしているの?

A • 2020年6月から子どもや地域の方を対象にした造形教室を本格的に始動しました。いまは少人数で、小学生が中心なので、本人の「こういうことをやりたい!」という気持ちを大事にして、私はそれをアシストしていくように心がけています。

Q 鳥取県立美術館に期待することは?

A • 作品を自分の目で観ること、そして、その作品がある空間に身を置くことはとても特別な体験です。そんな体験を、いろいろな人にひらかれた場所となる県立美術館でもたくさん重ねていきたいと思います。子どもたちからは「鳥取は、山や海、星など風景がきれいだから、そこに溶け込むような美術館になるといいな!」という声もありました。みんなでわくわくしながら開館を待っています!



藤田さんへのロングインタビューは  
Webメディア「totto」にて公開中!

## Passer's Recommend

1 それぞれに魅力的な海岸線  
海岸線一帯の浦富海岸には、白砂の浜、奇岩、洞門、離れ岩などが点在し見飽きることがありません。

2 しめ縄  
年末になると、農家さんが特産のマコモタケの葉で手づくりしています。特にエビ型は盛りが美しく見事。

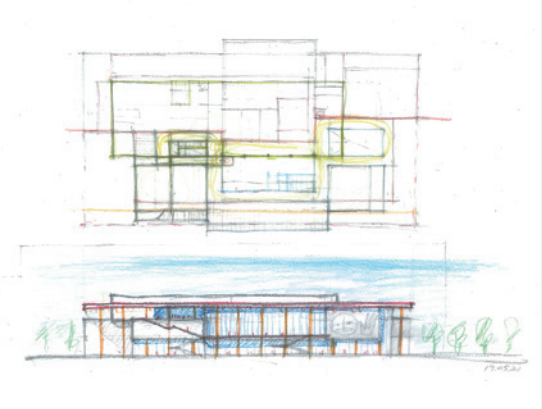
3 桜並木のドライブ  
撮り鉄スポットでもあるJR大岩駅から小田地区の桜並木沿いは、満開のときに車で走るとすごく気持ちいい!

美術館の間取りを決める、基本設計が完了しました!  
今回は設計者の長谷川さんに、あらためて建築の特徴や鳥取県の魅力について伺いました。

## Q1

設計の特徴について教えてください。

水平方向に広がる大屋根の下に大らかな「ひろま」を配置しました。多様な空間を立体的に回遊しながら、さまざまなアートや活動と出会うことのできる美術館です。大御堂廃寺跡に隣接した敷地の特徴を生かし、「えんがわ」を介して空間を大きく南に開き、屋内外の繋がりを生む構成にしています。また「ひろま」を中心に、大小さまざまな空間を展開することで、みなさんが集い賑わう場所と、一人で佇み思い思いに時を過ごす場所が共存する空間をつくり出そうとしています。県立美術館を設計するにあたっては、県内の優れたアートを後世へと伝え、アートのすそ野を拡げていく役割はもちろん、コミュニティの核となって新しい文化の創造拠点となる役割を両立させることを意識しています。



◀ 検討段階でのスケッチ



▲ 設計中の美術館の模型

鳥取県の良いところを教えてください。

## Q3

鳥取県には豊かな自然と、長い歴史を感じられる多くの文化資産があります。それらを日常的に身近に感じられる穏やかな環境であることが、最も魅力的ですね。またインターネットやSNSをはじめ、情報発信の手段が多様化したことで、文化の発信地は都市部に限らなくなりました。いま、その土地ならではの新たな文化の創造や発信が活発化していると思います。そんな最先端の課題に取り組めることも、鳥取県の良いところのひとつではないでしょうか。

写真提供: 横総合計画事務所

## INTERVIEW

横総合計画事務所  
取締役副所長

長谷川 龍友  
Tatsutomo Hasegawa

東京大学工学部建築学科を卒業後、東京大学大学院修士課程を修了。1995年横総合計画事務所に入所。



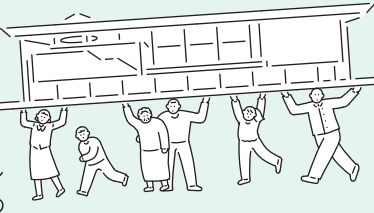
Q お気に入りの美術館はどこですか?

A 4年後に「鳥取県立美術館」とお答えしたいと思います。

## Q2

すべての施設に言えることですが、建物は、私たちが設計に関わる期間よりもはるかに長い時間を生きていくこととなります。そこで最も重要なのは、多くの方々に親しみをもって利用していただくこと。居心地の良い自分の居場所と感じられる空間をつくることで、永く愛着をもって親しんでいただける美術館にしたいですね。また今後、県内のさまざまな方々が関わっていくなかで、鳥取にしかない美術館の活動がかたちづくられていくことが楽しみです。

開館後、どんな美術館にしたいですか?



「とつとりの未来をつくる」  
美術館が生まれます!



# HISTORY OF MUSEUM

2020 (R2)

8/3



3~5月に続き、  
再び普及事業が中止に

各種展覧会は引き続き開催したものの、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当館主催の普及事業が再び8月31日まで中止となりました。

8/21

ファシリテーションに関する  
研修会を実施

鳥取県立美術館では、開館に合わせて作品鑑賞のファシリテーター(案内役)を募集する予定です。この日は一般の方を対象に対話型鑑賞を実施し、ファシリテーションに触れる機会を設けました。さらに9月26日には、案内役に不可欠な「傾聴」をテーマとした講演会も行いました。



当館学芸員による対話型鑑賞の様子

研修会参加者



前田夏樹さん(鳥取短期大学生活学科准教授)対話型鑑賞は、はじめて経験する人にとって、良い意味で鑑賞の認識が変わる体験になると思います。多くの人にこのような体験をしていただくために、ファシリテーターの役割が重要であると感じました。

8/30

夏休み企画シリーズ:  
美術をめぐる場をつくるII  
「高田光治 森からの贈りもの」が閉幕

自然分野の企画展「こんには変形菌」とコラボした、美術作家・高田光治氏による大規模なインスタレーションです。変形菌やキノコなどを用いた舟型の立体作品や子どもたちが制作した作品などを展示しました。会場内には、来場者が変形菌を観察して描くブースを設け、連日たくさんのスケッチが“増殖”していきました。



展示会場の様子



会場の壁に貼られた変形菌のスケッチ

9/4

バス招待事業を開催

県内10校(13回)、662名の小学生をバスで当館に招待しました。今年度は、コロナ禍で県外への移動が難しくなったため、修学旅行の訪問地として来館いただくことも。また、こうした団体来館の際にスタッフが対応する様子を、これから美術館を運営するPFI事業者やとっとり県美応援団の方々が見学されました。

バス招待に参加した先生方から、  
こんな声をいただきました!

comment\_1

鑑賞だけでなく、作品に使われた技法に関するワークショップなども準備されていてびっくり! 今回の体験が、子どもたちの社会や図工の学習に生きていました。

comment\_2

博物館や美術館に足を運ぶ機会は、子どもによって差があります。だからこそ、今回の訪問は、彼らの世界を広げる貴重な経験となりました。今後、博物館や美術館が子どもたちにとってより身近な場所となり、さらに豊かな感性や想像力を育ててほしいと願っています。



comment\_3

幼いうちからさまざまな芸術作品に触れることは大切。多様な見方や感じ方があることや、そのおもしろさに気づくことで、学習が深まります。さらに、作品とのふれあいが、人生を豊かにしてくれるものと感じています。



10/14

「コレクション宅配便」を  
県内各地で開催

5月と7月に続いて、この日は大山中学校にコレクションを宅配し、美術科の授業の一環として作品鑑賞を行いました。12月には境港市立第二中学校と鳥取短期大学にも訪問。「また、お願いします!」とお声がけいただくことも増えています。



大山中学校での作品鑑賞の様子

10/16

『Pass me!』3号目発行!



10/24

倉吉未来中心で『Pass me!』の  
公開発送作業を実施

「美術館ができるまでのワクワクした気持ちをみなさんと共有したい!」という想いから、普段ならバックヤードで行われる発送作業を、倉吉未来中心のオープンスペースで実施しました。通りかかった方にも、『Pass me!』や美術館のことをPRできる良い機会となっています。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「アートの種まきプロジェクト」の継続参加希望の方のみにご案内し、参加人数を限定して開催しました。



『Pass me!』発送作業の様子

Collection Recommend

プレッシャー  
重圧に負けない人  
に  
おすすめの名作  
中ハシクシゲ《ニノミヤ君》  
1992年/鉄



主任学芸員  
赤井あずみ 選

思い通りに物事が運ばなかったり、思っていることを伝えられなかったり……行き詰まっている人はいませんか? 背負っている重い荷物は下ろしちゃってもいいんです! いざ、生きる意味を探そう旅へ出かけましょう!

解説

二宮金次郎(尊徳)は、本を読みながら薪を売っていたという逸話から「勤勉」の象徴として、戦前の小学校に銅像設置ブームを巻き起こした。本作では、金次郎が薪の背負子と本を残して消えている。彼は何かから逃避し、どこへ向かったのか?

発送作業参加者



「画像左から」

深谷裕子さん、遠藤晃子さん  
大月悦子さん  
(とっとり県美応援団のみなさん)

この場ではじめてお会いした方もお話しできて、とても良い機会となりました。もっと多くの人を巻き込み、こうした活動や美術館、『Pass me!』のことを広めていきたいと思っています。

11/7

ワークショップつくり隊!による  
ワークショップを開催

企画展「ザ・フィンランドデザイン展」の関連事業として、スタンプやクレヨンを使ってオリジナルのテキスタイルをつくるワークショップを開催しました。「ワークショップつくり隊!」\*のみなさんの事前の打ち合わせと細やかな気づかいによって、楽しいひとときになりました。日をあらためて反省会も実施され、次の活動へとつながっていく予定です。

※市民公募による教育普及チーム。詳しい活動内容は『Pass me!』03をご覧ください。



岩田美里さん(ワークショップつくり隊!)  
大きな布の前に尻込みする方もいましたが、背中をひと押しするだけで、どんどん手が動いていく姿には、驚きと楽しさを感じましたね。まだ乾ききらない布を嬉しそうに広げながら帰る方々を見て、次はどんなことを一緒にできるだろうと楽しみになりました。



制作の手順を説明する  
つくり隊メンバー



消しゴムでスタンプをつくる  
参加者に、メンバーが削り方の  
レクチャーを行う

12/23

コロナ禍によって続くWEB会議

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、遠隔地にいるPFI事業者との協議を、リモートで開催することが通例になっています。この日は、対面で行う予定だったPFI事業者ととっとり県美応援団との対話会も、オンラインで行われました。

オンラインも活用しながら、  
さまざまな活動を試行しています!

2021 (R3)

1/16

アートの種まきPROJECT  
メディアづくりシリーズ6を実施

『Pass me!』のデザインを担当する、デザイナー・三宅航太郎さんを講師に迎え、デザイン講座をオンラインで開催しました。参加者は、県東・中・西部の幅広い世代の方々をはじめ、県外からも! 新しい美術館の説明を聞いた後に、参加者がデザイナーとなって、美術館の仮想ロゴマークをつくる課題に挑戦。多様な視点や斬新なアイデアが飛び出しました。

こんなロゴマークが生まれました  
鳥取県立美術館の架空の名称・TPAM  
(Tottori Prefecture of Art Museumの略)を  
テーマに、ロゴマークを作成しました。



「TPAM」の形に紙を切り抜いたロゴ。  
背景によって印象や意味を  
変えられる仕組みになっている



毛糸や絵具など、美術の授業で使う素材を  
用いて「工作」のイメージを強調している



USBコードを用いた「M」の文字で  
人や作品への「接続」を表現

三宅航太郎さん(うかぶLLC代表)  
美術館のコンセプトをもとに、家にあるものからモノのイメージを考え、それを組み合わせて文字を設計しました。コロナ禍でオンラインでの開催になりましたが、みなさんが楽しそうに取り組まれていたのが印象的でした。

NS講師



色にこだわってモノをピックアップ。  
「M」の文字はおもちゃのヘビ!